

【主題名】みんなのものを大切に 内容項目 「C-(10) 規則の尊重」

【教材名】きいろいベンチ（東京書籍 新しいどうとく2）

＜あらすじ＞雨が上がって晴れた日に、たかしとてつおは公園で紙飛行機を飛ばして遊んでいた。より高く飛ばそうと、ベンチの上から飛ばすことにした。夢中になってベンチを汚してしまっただことに気付かなかった。その後、小さな女の子がベンチに座ってスカートを汚してしまう。

【ねらい】

☑ 内容項目の理解

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にするという道徳的価値について指導する。

☑ 児童生徒の実態把握

約束やきまりは守らなければならないことを理解はしているが、それらをなぜ守らなければならないのか理解は不十分である。

☑ 本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

自分勝手な行動をしないで、周りの人のことを考え、わがままな心を抑えて生活しようとする道徳的実践意欲や態度を育てる。

【指導の流れ】

段階	主な学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 本時のねらいとなる道徳的価値について問題意識を持つ。</p> <p>○ 学校のきまりには、どのようなものがありますか。</p> <p>○ きまりは、何のためにあるのでしょうか。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <p>みんなが気持ちよく過ごすために大切なことを考えよう。</p>	<p>導入の工夫</p> <p>自分との関わり</p>
展開	<p>3 登場人物の心情を自分との関わりで捉える。</p> <p>○ 2人はどうしてベンチの上に乗って飛行機を飛ばしたのでしょうか。</p> <p>○ 2人は遊んでいるとき、どのような気持ちでしたか。</p> <p>◎ おばあさんの話を聞いて、2人はどのようなことを考えたでしょう。</p> <p>4 みんなが気持ちよく生活するために必要なことについて考える。</p> <p>○ 2人にどのようなことを教えてあげますか。</p>	<p>自分との関わり</p> <p>体験的な学習</p> <p>多面的・多角的</p>
終末	<p>5 自己の生き方について考える。</p> <p>○ みんなが気持ちよく生活するためには、どのようなことに気を付けていけばよいでしょう。</p>	<p>終末の工夫</p>

【板書計画】

教えてあげること

- ・すわる人のことも考えて、くつでのはいけないう。
- ・くつをぬいであがろうね。
- ・まわりにめいわくをかけてはいけないう。

みんなきもちよく過ごすために、ほかの人のことも考えて、きまりを守る。

めいわくをかけた。

だろだらけの女の子の絵

- ・どうしよう。
- ・ぼくたちがわるいのかな。
- ・おばあちゃんに、しかられる。
- ・あやまったほうがいいのかな。
- ・わるいことをしたつもりはないのに。

む中になっている。

ベンチで遊ぶ絵

- ・あそんで、気持ちがいい。
- ・楽しい。
- ・ひさしぶりに晴れてうれしい。
- ・もっと遠くまでとばしたい。

第○回道とく

- ・ろうかを走らない
- ・時間はまもる。
- ・なかよくあそぶ。
- ・きいろいベンチ

みんながきもちよく過ごすために、大切なことを考えよう。

【評価】

たかしとてつおの心情の変化を考えることを通して、きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えようとしていたか。